



# JBC news

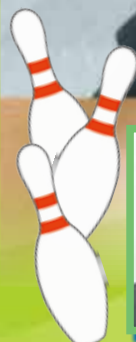
since 1970

【毎月1回10日発行・1部20円】

JBCニュース  
第601号 2022年7月10日  
昭和50年5月19日第三種郵便物認可

発行所  
公益財団法人 全日本ボウリング協会  
東京都新宿区霞ヶ丘町4-2  
Japan Sport Olympic Square 511号室  
03 (6804) 5605  
<http://www.jbc-bowling.or.jp/>

# ボウリングをもっと おもしろくしたい!



- 2面 理事会・評議員会レポート
- 3～5面 第48回 全日本実業団産業別選手権大会
- 6～9面 第55回 全日本シニア選手権大会
- 10～11面 第34回オールジャパン レディストーナメント
- 12面 INFORMATION



6月15日、これから2年間のJBCを担う役員が決定しました。引き続きリーダーを務める北川薫会長も役員一同も、ボウリングをもっとカッコよく、おもしろく変えていくことに意欲満々です。今年はJBCのイメージがガラリと変わるような何かがあるかもしれません。



## いちごいちえ会とちぎ国体

第77回 国民体育大会 夢を感動へ。感動を未来へ。2022



とちぎ国体・大会承認第1-49号



ボウリング競技

会場：足利スターレーン

日程：10/5(水)～10/10(月・祝)

JBC 公益財団法人 全日本ボウリング協会

JBCニュースは、スポーツ振興くじ助成金を受けて発行しています

スポーツクリ





理事会・評議員会レポート

2022年度 第1回理事会

2022年度第1回理事会は5月31日(火)に開催。2021年度の事業報告案と収支決算報告案が審議にかけられ、いずれも原案どおり可決されました。続いて、各報告を諮るための評議員会の召集を決

2022年度 定時評議員会

2022年度定時評議員会は6月15日(水)に開催されました。議事に先立ち、今年10月に開催予定のいちご一会とちぎ国体について、ポウリング競技を開催する足利市実行委員会の植木勲事務局長より説明と開催への協力要請をいただきました。

2022年度 第2回理事会

評議員会での理事選出を受けて、同日に2023年度第2回理事会を開催。2022・2023年度の会長・副会長・専務理事・常務理事の互選により決定しました。



定時評議員会で役員改選



2022年度は役員改選期にあたり、塚田芳久副会長、2021年度事業報告案、収支決算報告案は、評議員会で原案どおり可決承認されました。



第2回理事会 再任の北川会長があいさつ

に就任しました。専務理事職は齋藤長太郎事務局長が兼任。不破伸二常務理事と西林康憲常務理事が新たに選任されました。

新規事業にも取り組むことし、事業案と目標を確認しました。

四宮和裕理事 飯島祥行理事 川上秀樹理事 小林穰理事

Table listing the board members for the 2022-2023 fiscal year, including representatives, directors, and regional representatives.

京都府スポーツ協会表彰

令和4年度(公財)京都府スポーツ協会表彰において、斉藤翔選手(全日本シニアチームメンバー・学生連合)が優秀選手賞を受賞しました。



優秀選手賞を受賞した斉藤翔選手

ミズノスポーツ振興財団がシニアボウリング大会を助成

(公財)ミズノスポーツ振興財団より2022年度国民スポーツ・生涯スポーツ普及振興に対する助成金が授与されました。



ミズノスポーツ振興財団・水野英人副会長(左)と北川薫会長

川井敏孝氏逝去

協会元理事で、愛知県ボウリング連盟顧問(前理事長)の川井敏孝氏が、6月14日に逝去されました。(享年81歳)

2022年度~2023年度 専門委員会構成

Large table detailing the composition of various committees, including the General Council, Special Committees, and various working groups.

【摘要】 無印：理事 (学)：学識経験 (技)：技術経験

※監事任期は2020~2023年度のため、今年度の改選はありません



# 経済産業大臣杯 第48回全日本実業団産業別選手権大会

## A部門



準優勝の金沢市役所（石川）

## B部門



準優勝のタイトー仙台（宮城）

## C部門



準優勝のデンソーA（愛知）

## D部門



準優勝のJFE西日本A（広島）



第3位の呉市役所A（広島）



第3位の神奈川県実業団OBクラブA（神奈川）



第3位の三菱電機紅菱会B（兵庫）



第3位のトヨタ自動車A（愛知）



第4位の呉市役所C（広島）



第4位の東京都実業団OBクラブA（東京）



第4位のセイテック（岡山）



第4位の不二越（富山）



第5位の呉市役所B（広島）



第5位の神奈川県実業団OBクラブB（神奈川）



第5位のデンソーB（愛知）



第5位の久世ペローズ工業所（石川）



第6位の福岡市役所（福岡）



第6位の石川県実業団OBクラブA（石川）



第6位の三菱電機紅菱会A（兵庫）



第6位の津田駒工業（石川）

## チーム ハイゲーム・ハイシリーズ



A部門チームHG・HSの桑名市役所A（三重）



B部門チームHGのタイトー仙台（宮城）



B部門チームHSの東京都実業団OBクラブA（東京）



C部門チームHG・HSのオリロー（埼玉）



D部門チームHG・HSの久世ペローズ工業所（石川）



# 10年ぶりの大臣杯

## 第48回全日本実業



左から福田嘉光、石本美来、銚崎浩二

# JFE西日本(広島)

経済産業大臣杯第48回全日本実業団産業別選手権大会が5月27日(金)から29日(日)にかけて、三重・津グランドボウル(公認No.123・048)で開催された。

3年ぶりに4部門制となった部門別大会は高スコアのオンパレードに。A部門は桑名市役所(三重)、B部門はエナジックインターナショナル(沖縄)、C部門はオリロー(埼玉)、D部門は日本精工藤沢(神奈川県)が制した。

決勝大会も部門大会の勢いを継いだハイレベルな戦いの中、JFE西日本(広島)がリードして優勝。10大会ぶり3度目の制覇となった。



開会式であいさつする北川薫会長

### 決勝大会

序盤からハイレベルなゲームを展開。JFE西日本Aは2ゲーム目に石本美来がパーフェクトを達成すると、3ゲーム目は全員が250超でそろえて774。

前半シリーズ2154とした。タイトー仙台(宮城)も2044を打ったが、110ピンの大差がついた。後半もJFE西日本Aは危なげない試合運びで1928。トータルスコアは唯一の4000UPで圧勝。10年ぶりに産業別選手権の頂点に舞い戻った



準優勝のトヨタ自動車A(愛知)



第3位のタイトー仙台(宮城)



第4位の神奈川県実業団OBクラブA(神奈川)



第5位のエナジックインターナショナル(沖縄)



第6位のオリロー(埼玉)

### パーフェクト 300

根本選手と石本選手が達成

根本 遥	宮城県	27歳
	タイトー仙台	
使用ボール	PhysiX SE(15p3oz)	
公認ドライヤー	川上恵治 (公認No. 1073-04)	
石本美来	広島県連盟	
	JFE西日本	
全日本ナショナルチームメンバー	25歳	
使用ボール	Mega Lock(15p2oz)	
公認ドライヤー	芦川和義 (公認No. 1779-14)	

B部門ハイゲームは300。根本遥(宮城・タイトー仙台)



第48回全日本実業団産業別選手権大会において、根本選手(宮城・タイトー仙台)が大会第44号、石本美来選手(広島・JFE西日本)が大会第45号となるパーフェクトゲームを達成、協会主催大会公認第514・515号として認定された。両選手には会場の津グランドボウルより記念品が贈呈された。

### 個人HG

A部門 庄瀬智大(三重・桑名市役所A)



C部門 佐渡山肇(埼玉・オリロー)はHSも受賞



D部門 高平雄生(富山・不二越)



### 個人HS

A部門 小林剛美(三重・桑名市役所A)



B部門 野村経博(鹿児島・七徳会)



C部門 藤原健登(兵庫・三菱電機紅菱会B)



D部門 脇坂裕貴(石川・久世(ローズ工業所))



決勝大会CSO・石本美来(広島・JFE西日本A)



# 経済産業大臣杯 第48回全日本実業団産業別選手権大会





A部門

桑名市役所A(三重)

予選1回戦は大阪市役所(大阪)の1859をトップに、4位までが1マークずつの差ですらりと並んだ。3位につけた桑名市役所A(三重)は、2回戦も1874にまとめて首位を奪った。金沢市役所A(石川)は2シリーズ連続で1840台の安定感で2位をキープした。

3回戦、桑名市役所Aが1ゲーム目に800のビッグスコアをたたき出した。シリーズも2060とし、1927と打ち上げた金沢市役所にも157ピンのリードを作った。決勝も2ゲーム目に755をマークした桑名市役所A。終わってみれば330ピンの大差で優勝となった。



B部門

エナジックインターナショナル(沖縄)

タイトー仙台(宮城)が1ゲーム目779のロケットスタートに成功。2位の神奈川県実業団OBクラブA(神奈川)に69ピン差をつけた。3位につけたエナジックインターナショナル(沖縄)は2回戦に1950をマーク。タイトー仙台は同点で並ばれたが、3回戦に再び2007と打ち上げて、トップ通過を決めた。

決勝開始の時点で31ピン差のタイトー仙台とエナジックインターナショナル。1ゲーム目はタイトー仙台がリードを伸ばし、2ゲーム目はエナジックインターナショナルが5ピン差まで詰めてきた。勝負の最終ゲーム、624にまとめたエナジックインターナショナルが逆転に成功。5大会ぶりのB部門制覇となった。



C部門

オリロー(埼玉)

1回戦は1901をマークしたオリロー(埼玉)をセイテック(岡山)が32ピン差で追う展開。2回戦もオリローは1856と、スコアの伸びなかった他チームを早くも置き去りに。3回戦ではデンソーA(愛知)が1878と打ち上げるも、オリローはそれを上回る2028。

余裕のトップ通過となったオリロー。決勝も1899と、文句なしのスコアメイクで逃げ切って見せた。

経済産業大臣杯 第48回全日本実業団産業別ボウリング選手権大会 成績表

2022年5月27日(金)~29日(日) 三重・津グランドボウル

参加・66チーム 214名

〔部門大会〕 (3×12G)

《A部門》

Table with 4 columns: Rank, Team Name, Player Names, and Score. Includes winners from Sanami City Office and Enajick International.

《B部門》

Table with 4 columns: Rank, Team Name, Player Names, and Score. Includes winners from Enajick International and Tai-to仙台.

《C部門》

Table with 4 columns: Rank, Team Name, Player Names, and Score. Includes winners from Oriro and Dai-ni Seiki.

《D部門》

Table with 4 columns: Rank, Team Name, Player Names, and Score. Includes winners from Nippon Seiki and JFE West Japan.

〔決勝大会〕 (3×6G)

Table with 4 columns: Rank, Team Name, Player Names, and Score. Includes winners from JFE West Japan and Tai-to仙台.



D部門

日本精工藤沢A(神奈川)

4部門中最多のエントリー数となったD部門は、2つの組に分かれて予選を行った。A組では日本精工藤沢A(神奈川)が1回戦から2020をマークすると、2回戦は1844、3回戦にも2008と高スコアを連発した。JFE西日本A(広島)も3回戦2082とし2位に浮上した。

B組は、1回戦は大接戦。2回戦に2000を打ったトヨタ自動車Bが抜け出し、3回戦では2095を打った久世ペローズ工業所(石川)に迫られるも、19ピン差でしのいだ。

A・B組の予選成績を総合すると、トップは5872の日本精工藤沢A。2位のJFE西日本Aは148ピン差をつけられ、トヨタ自動車Bはさらに154ピン差。余裕をもって決勝に進んだ日本精工藤沢Aは、ここでも1931と手を緩めず優勝を決めた。

ガイド (Guide) section containing detailed information about the tournament structure, including departmental divisions, player selection, and prize details.







# 第55回全日本シニアボウリング選手権大会

## 男子シニア部門 2人チーム戦

優勝の愛知C



準優勝の石川A



第3位の神奈川A



第4位の岐阜A



第5位の神奈川B



第6位の山梨A



## 女子シニア部門 2人チーム戦

優勝の広島A



準優勝の富山A



第3位の福岡A



第4位の岡山B



第5位の京都C



第6位の東京A



## 男子ハイシニア部門 2人チーム戦

優勝の長崎A



準優勝の大阪A



第3位の大阪B



第4位の島根A



第5位の静岡D



第6位の兵庫B



## 女子ハイシニア部門 2人チーム戦

優勝の兵庫A



準優勝の京都A



第3位の京都B



第4位の三重A



第5位の栃木A



第6位の京都C



## 各部門 ハイゲーム・ハイシリーズ



男子シニア部門・HGHSの内藤茂(京都府)

女子シニア部門・HGの荒智子(東京都)

女子シニア部門・HSの梅尾陽子(京都府)

男子ハイシニア部門・HGの松原聡(東京都)

男子ハイシニア部門・HSの藪内賢一(兵庫県)

女子ハイシニア部門・HGHSの中上佐代子(兵庫県)

男子マスターズシニア部門・HGの栗林隆行(三重県)

男子マスターズシニア部門・HSの鈴木千恵彦(愛知県)

女子マスターズシニア部門・HGの木村隆子(千葉県)

女子マスターズシニア部門・HSの小鶴景子(福岡県)



男子シニア部門 個人戦



女子シニア部門 個人戦



男子ハイシニア部門 個人戦



女子ハイシニア部門 個人戦



第55回全日本シニアボウリング選手権大会 成績表

参加：男子シニア部門 209名、男子ハイシニア部門 160名、女子シニア部門 99名、女子ハイシニア部門 70名  
マスターズシニア部門 男子43名、女子24名 合計 605名

2022年6月17日(金)～19日(日)  
愛知・稲沢グランドボウル

《男子シニア》(50歳～64歳)		《男子ハイシニア》(65歳～74歳)		《女子シニア》(50歳～64歳)		《女子ハイシニア》(65歳～74歳)	
* 2人チーム戦 (2×6G)		* 2人チーム戦 (2×6G)		* 2人チーム戦 (2×6G)		* 2人チーム戦 (2×6G)	
優勝	愛知C (小林浩, 松岡富綱) 2,502	優勝	長崎A (服部良成, 藤山篤美) 2,429	優勝	広島A (加藤めぐみ, 高見ひとみ) 2,242	優勝	兵庫A (中上佐代子, 久米充代) 2,372
準優勝	石川A (河合昭彦, 魚雅章) 2,499	準優勝	大阪A (吉田勝, 濱田常男) 2,404	準優勝	富山A (山本直美, 川西明子) 2,240	準優勝	京都A (佐野弘子, 田中市子) 2,263
第3位	神奈川A (瀬野和博, 川島徹) 2,469	第3位	大阪B (榎谷敏, 松井正信) 2,399	第3位	福岡A (円城寺真由美, 梶原教子) 2,221	第3位	京都B (中谷明美, 中嶋美知子) 2,194
第4位	岐阜A (荻下浩一, 吉村直人) 2,448	第4位	島根A (林田栄三, 村上賀章) 2,366	第4位	岡山B (宮武保子, 仁科成美) 2,220	第4位	三重A (澤田英子, 柳川穂波) 2,187
第5位	神奈川B (近江雅久, 斎藤有作) 2,414	第5位	静岡D (杉山憲良, 深澤智秀) 2,363	第5位	京都C (泉靖子, 齊ノ内真由美) 2,199	第5位	栃木A (伊東千枝子, 湯本友子) 2,156
第6位	山梨A (田中豊, 伊藤出) 2,408	第6位	兵庫B (加地敏浩, 橋本敏) 2,360	第6位	東京A (松野琴美, 西村則子) 2,182	第6位	京都C (蓬萊史恵, 奥享子) 2,136
* 個人戦 (6G)		* 個人戦 (6G)		* 個人戦 (6G)		* 個人戦 (6G)	
優勝	荻下浩一 (岐阜県) 1,379	優勝	西川外志雄 (石川県) 1,318	優勝	中西晴子 (愛知県) 1,173	優勝	馬場初美 (大分県) 1,188
準優勝	竹崎寿征 (滋賀県) 1,349	準優勝	杉山憲良 (静岡県) 1,268	準優勝	円城寺真由美 (福岡県) 1,165	準優勝	中上佐代子 (兵庫県) 1,161
第3位	由中信安 (愛媛県) 1,323	第3位	上山正 (埼玉県) 1,219	第3位	鈴木英子 (福島県) 1,164	第3位	浜辺津那子 (広島県) 1,148
第4位	増田一義 (千葉県) 1,305	第4位	松原聡 (東京都) 1,204	第4位	山中貴美 (高知県) 1,164	第4位	林静恵 (山口県) 1,142
第5位	内藤茂 (京都府) 1,299	第5位	前田知一 (石川県) 1,203	第5位	山本直美 (富山県) 1,163	第5位	佐野弘子 (京都府) 1,125
第6位	前田盛淳 (沖縄県) 1,276	第6位	中田明 (福島県) 1,202	第6位	高木則子 (福井県) 1,160	第6位	湯本友子 (栃木県) 1,116
* 選手権者決定戦 (15G)		* 選手権者決定戦 (15G)		* 選手権者決定戦 (15G)		* 選手権者決定戦 (15G)	
優勝	難波江康雄 (広島県) 3,171	優勝	西川外志雄 (石川県) 3,068	優勝	山本直美 (富山県) 2,902	優勝	馬場初美 (大分県) 2,904
準優勝	荻下浩一 (岐阜県) 3,161	準優勝	服部良成 (長崎県) 3,058	準優勝	森下美紀 (京都府) 2,872	準優勝	中上佐代子 (兵庫県) 2,894
第3位	伊藤出 (山梨県) 3,127	第3位	松原聡 (東京都) 3,005	第3位	川西明子 (富山県) 2,821	第3位	林静恵 (山口県) 2,862
第4位	松岡富綱 (愛知県) 3,105	第4位	竹内隆司 (兵庫県) 2,991	第4位	宿谷貴子 (東京都) 2,812	第4位	柳川穂波 (三重県) 2,851
第5位	竹崎寿征 (滋賀県) 3,103	第5位	野澤俊之 (千葉県) 2,978	第5位	中川晶子 (熊本県) 2,801	第5位	大丸谷智子 (石川県) 2,833
第6位	魚雅章 (石川県) 3,080	第6位	吉田勝 (大阪府) 2,968	第6位	鈴木英子 (福島県) 2,794	第6位	佐野弘子 (京都府) 2,775
ハイゲーム	内藤茂 (京都府) 279	ハイゲーム	松原聡 (東京都) 265	ハイゲーム	荒智子 (東京都) 255	ハイゲーム	中上佐代子 (兵庫県) 265
ハイシックス	内藤茂 (京都府) 723	ハイシックス	荻内賢一 (兵庫県) 677	ハイシックス	梶尾陽子 (京都府) 642	ハイシックス	中上佐代子 (兵庫県) 700

《男子マスターズシニア》(75歳以上)		《女子マスターズシニア》(75歳以上)	
優勝	山口五郎 (千葉県) 2,406	優勝	小鶴景子 (福岡県) 2,209
準優勝	鈴木千恵彦 (愛知県) 2,334	準優勝	木村隆子 (千葉県) 2,056
第3位	木村堅司 (岡山県) 2,324	第3位	濱元小夜子 (愛知県) 2,023
ハイゲーム	栗林隆行 (三重県) 258	ハイゲーム	木村隆子 (千葉県) 221
第4位	浅田俊夫 (千葉県) 2,271	第4位	小野昭恵 (佐賀県) 1,950
第5位	播本雄輔 (京都府) 2,267	第5位	木村正子 (大分県) 1,922
第6位	小玉真 (神奈川県) 2,264	第6位	福原秀子 (京都府) 1,911
ハイシックス	鈴木千恵彦 (愛知県) 674	ハイシックス	小鶴景子 (福岡県) 605



# 34th ALL JAPAN LADIES BOWLING TOURNAMENT

## 火花散る戦い

### 優勝は石井こころ 小見渚典子&



第34回オールジャパンレディストーナメントが6月3日(金)から5日(日)にかけて、東京・平和島スターボウル(公認No.113-126)で開催された。ルビーとサファイア、2つの部門に分かれて、優勝者は火花散るマッチゲームで決定。石井こころ(埼玉)と小見渚典子(東京)が、悲願の初優勝を遂げた。



開会式であいさつするLプロジェクト高橋委員長

<b>石井こころ</b>	ルビークラス	埼玉県	14歳
使用ホール	Nanodesu Accu-Line Tour Premium IV(15p)		
公認ドライバー	谷中宏行 (公認No. 2031-08)		
<b>小見渚典子</b>	サファイアクラス	東京都	68歳
使用ホール	High Rev 3D Offset(14p2oz)		
公認ドライバー	西原 亮 (公認No. 0899-11)		

**ルビークラス (49歳以下)**  
予選1回戦は、野仲美咲(東京)が660でトップに立つも、川上紗季(栃木)は1ピン差、戸塚真由(学連)はさらに2ピン差という大接戦。野仲は2回戦も好調で695とスコアを伸ばした。我孫子美葵(宮城)が667としる位に浮上したが、50ピンの差がついていた。



ルビークラス準優勝の我孫子美葵(宮城)とルビークラス第3位の石田万音(兵庫)



サファイアクラス準優勝の柳川穂波(三重)

試合が動いたのは3回戦。石井こころ(埼玉)が749、番井琴音(北海道)は739とビッグシリーズが続出。野仲は644にまとめるも首位を譲ることになった。予選を突破した12名のうち、ジュニア選手が半数を超える快進撃。セミファイナル



ルビークラス第4位の近藤真桜(群馬)とルビークラス第5位の番井琴音(北海道)

でもその勢いは止まらず、中学3年生の石井は694を打ってトップシードを獲得した。高校2年生の石田万音(兵庫)は予選5位から追いついて2位通過。高校1年生の我孫子も3位でファイナル進出を決め、この時点で優勝者がプリンセス賞も受賞することが確定した。



ルビークラス第6位の野仲美咲(東京)とサファイアクラス第3位の松野琴美(東京)

3位決定戦は、我孫子がストライク5連発でリードする展開。石田は中盤までよくダブルを決めて、9フレーム目からはターキーと意地を見せたが、我孫子はノーミスで投げ切り逆転を封じた。



サファイアクラス第4位の寺口エミ子(北海道)とサファイアクラス第5位の吉田由美子(埼玉)

239対225の好勝負を演じた我孫子は、優勝決定戦も先にダブルを決めた。石井は5フレーム目に、6番ピンが遅れて倒れストライク。ここから4連発でリードした。すると我孫子もターキーで応戦し、1マーク差まで戻っていた。すると石井は9フレーム目に、3本を残すスプリットでリードを失ってしまった。



サファイアクラス第6位の駒場よし子(東京)とハイゲームの松岡真弓(静岡)

**サファイアクラス (50歳以下)**  
1回戦、優勝経験者の柳川穂波(三重)が674、入賞歴のある小見渚典子(東京)が671と集団から抜け出した。2回戦でも柳川は625、小見渚は613にまとめて順位は変わらず。7位につけていた松岡真弓(静岡)

勝負の第10フレーム、石井が先にストライクを決めた。しかし我孫子は痛恨の4・7スプリット。石井は続けてのストライクで決着をつけて、中学3年生で頂点に立って見た。



サファイアクラス第5位の吉田由美子(埼玉)とサファイアクラス第6位の駒場よし子(東京)

は、3回戦で285のビッグゲームを活かして、100ピン以上あった差を帳消しにした。トップは松岡、2位に13ピン差で駒場よし子(東京)と続いてセミファイナルに突入した。

予選は3位通過となった小見渚だったが、セミファイナルは3ゲームとも200UPで659とし、トップシードを獲得した。柳川も5位まで後退してピンチを思いきや、652と打ち上げて2位で突破。残る1枠は、4位で予選通過した松野琴美(東京)が逆転でつかんだ。

柳川と松岡による3位決定戦は、スタートからダブルで柳川が先行した。中盤は両者ストライクが出ないもどかし展開が続いたが、最初のリードを大事にした柳川が勝利。2大会ぶりの優勝に挑戦することに。



ハイゲームの松岡真弓(静岡)とルビークラスの番井琴音(北海道)

後、小見渚は堅調にスベアをつないだが、柳川は7・10のスプリットが続き苦戦。開いていく差をダブルで縮めた柳川だったが、小見渚はそのまま逃げ切り初優勝を果たした。

### 第34回オールジャパンレディズボウリングトーナメント 成績表

参加：124名  
2022年6月3日(金)～5日(日)  
東京・平和島スターボウル

《ルビークラス》49歳以下

優勝	石井こころ(埼玉)	230
準優勝	我孫子美葵(宮城)	239
第3位	石田万音(兵庫)	225
第4位	近藤真桜(群馬)	201
第5位	番井琴音(北海道)	201
第6位	野仲美咲(東京)	201
ハイゲーム	番井琴音(北海道)	290
ブリック	石井こころ(埼玉)	290

《サファイアクラス》50歳以上

優勝	小見渚典子(東京)	207
準優勝	柳川穂波(三重)	197
第3位	松野琴美(東京)	190
第4位	寺口エミ子(北海道)	184
第5位	吉田由美子(埼玉)	184
第6位	駒場よし子(東京)	184
ハイゲーム	松岡真弓(静岡)	280
クイーン	寺口エミ子(北海道)	280



## オプションツアーは 築地グルメと スカイツリー

競技前日の6月3日(金)、一足先に集合した選手たち31名が観光バスに乗り込み、半日の東京めぐりに出発しました。

最初に訪れたのは築地エリア。市場が豊洲に移転したあとも、寿司や海鮮丼の名店がずらりと並び、にぎわいが続く場外市場で、少し遅めのランチや食べ歩きを楽しみました。近くの築地本願寺まで足を伸ばす人も。

続いて一行は東京スカイツリータウンへ。到着と同時に雨



▲スカイツリーの窓の外は雨もよう  
▲築地本願寺では快晴でしたが...

雲が立ち込め、展望台では目の前で雷が光る珍しい天候に遭遇。おひざ元の東京ソラマチでお土産やスイーツの買い物を楽しんだ後は、平和島スターボウルまでドライブ。夕映えの車窓から東京タワーやお台場エリアの風景を楽しみ、翌日からの健闘を誓って解散となりました。



▲築地ではバラエティに富んだ海鮮丼でランチを楽しみました

## ベストドレッサーは 親子リンクコーデ

オリジナリティや美しさのあるウェアを称えるベストドレッサー賞。今大会からは厳選した1着を選出することとなり、お気に入りのウェアでの参加を募りました。

数多くの意欲作の中から選ばれたのは、親子で参加した針谷明日香選手(左)と洋子選手。黒のポロシャツと黒のスカートに、背中だけインパクトのあるプリントを施した、一点集中で魅せるスタイル。明日香選手はパンダや浅草の祭りなど地元である東京の見どころを並べ、洋子選手はポウリ



▲オリジナリティのあるイラストが目を引きました

ングのピンを鋭く打ち抜くという意気込みが込められたものです。それぞれの個性を表しつつも、流行している「リンクコーデ」に仕上げたところに評価が集まり、親子1組としての受賞となりました。



### 2022年度 各連盟公認競技会・リーグ登録数

地区名	連盟	2022年6月30日現在		リーグ
		公認件数	開催実数	
北海道地区	北海道	16	5	3
	青森	31	1	
	岩手	22	12	
	宮城	28	25	
東北地区	秋田	5	7	
	山形	12		
	福島			
	茨城	13		
関東地区	栃木	15	24	3
	群馬	40		
	千葉	24		2
	東京	12		8
北信越地区	神奈川	8		9
	山梨	15	3	
	新潟	1		
	長野	15	14	
東海地区	富山	21	21	
	石川	19		4
	福井	9	2	
	静岡	17	22	
関西地区	愛知	34	9	
	三重	20	13	
	滋賀	27	30	
	京都	47		4
中国地区	大阪	24	5	11
	兵庫	21		11
	奈良	6		
	和歌山	14	7	
四国地区	鳥取	8		1
	徳島	3		
	岡山	32	19	
	広島	14	4	2
九州・沖縄地区	山口	12	6	6
	香川	11	10	
	愛媛	6	9	
	高知	2	2	
全日本学生連合	福岡	16	12	22
	佐賀	2		5
	長崎	4	1	9
	熊本	2		4
総計	大宮	21	6	4
	鹿嶋	22	9	4
	鹿嶋	12	3	5
	沖縄	3		2
全日本学生連合		3		5
総計		686	281	105



寺口エミ子 (北海道)



石井こころ (埼玉)

### プリンセスは石井、クイーンは寺口が受賞

今大会から新たに「プリンセス賞」と「クイーン賞」が設けられた。プリンセス賞はジュニア選手の最上位者に贈られる賞で、石井こころが優勝とのダブル受賞を果たした。

クイーン賞は75歳以上の最上位者に贈呈。4位に入賞した寺口エミ子(北海道)が受賞となった。石井にはハート型、寺口にはダイヤモンド型のクリスタルオブジェがプレゼントされた。

### 豪華副賞 ボール&ウェアを贈呈

ルビークラス、サファイアクラスとも、優勝選手には(株)サンブリッジよりボウリングボールが副賞として贈呈された。

また各部門の上位3選手には、ミーフコーポレーションよりオリジナルウェアが贈呈された。



1位通過の選手は優勝決定戦へシードされる。2位選

各部門予選9ゲームを行い、各部門12名がセミファイナルに進出。さらに3ゲームを3ゲームで行って、合計12ゲームの総スコアにより、上位3名がファイナルマッチに進出する。

オールジャパンレディーストーナメントは女性のためのボウリング大会。満49歳以下による「ルビークラス」と、満50歳以上の「サファイアクラス」の2部門を設定し、個人戦で優勝を争った。ルビークラスでは中学生以下の選手に1ゲーム10ピンのハンディキャップを付与し、ジュニア選手の参加を奨励。サファイアクラスは60歳以上の選手に、5歳ごとのピンずつ増えるハンディキャップが設定された。



また、ガラスの靴を優勝として贈呈し、プリンセス&クイーンやハイゲーム賞にもクリスタルガラス製のオブジェを採用。スタイリッシュな賞品が場内で反響を呼んだ。

手と3位選手による3位決定戦(1ゲームマッチ)の勝者が、1位選手と優勝決定戦で対決、優勝者を決定する。2部門制となり、それぞれ参加選手の年齢幅が広がったことから、ジュニアや高齢の選手の参加を奨励するため「プリンセス賞」と「クイーン賞」が新設された。優勝者が各賞の対象年齢であった場合、W受賞も可能とした。

文部科学大臣杯  
**第46回 全日本中学ボウリング選手権大会**  
開催月日 2022年7月25日(月) ▶ 27日(水)  
会場 キョーイチボウル宇治 京都府宇治市小倉町神楽田 55-1 TEL0774-22-5524

主催: 公益財団法人 全日本ボウリング協会  
後援: スポーツ庁 公益財団法人 日本スポーツ協会 公益財団法人 日本オリンピック委員会 京都府 京都府教育委員会 公益財団法人 京都府スポーツ協会 京都新聞 宇治市 宇治市教育委員会 一般財団法人 宇治市スポーツ協会 公益社団法人 宇治市観光協会  
協賛: 株式会社 アメリカンボウリングサービス 株式会社 ハイ・スポーツ社 株式会社 サンブリッジ 株式会社 ファイルドリラックス  
協力: 日本ボウリング機構(JBO) 株式会社 松原興産 キョーイチボウル宇治  
主管: 一般社団法人 京都府ボウリング連盟

JOCジュニアオリンピックカップ  
**第46回 全日本高校ボウリング選手権大会**  
2022/8/3(水) ▶ 4(木)

主催 (公財)全日本ボウリング協会  
後援 スポーツ庁 (公財)日本スポーツ協会 (公財)日本オリンピック委員会 愛知県 (公財)愛知県スポーツ協会 稲沢市 稲沢市教育委員会 稲沢市スポーツ協会 全国高等学校体育連盟ボウリング専門部加盟連合会  
協力 日本ボウリング機構(JBO)  
主管 愛知県ボウリング連盟

〒492-8164 愛知県稲沢市井之口大坪町80-1  
TEL0587-21-2131 FAX0587-21-2133  
http://www.grandbowl.jp/inazawa



# いちご一会とちぎ国体 PRポスターが完成

今年10月に開催される第77回国民体育大会(いちご一会とちぎ国体)ボウリング競技のPRポスターが完成しました。3年ぶりの開催が待望されている国体は、ジュニア選手にとっても大きな目標。国体出場を目指している5人の高校2年生がモデルに起用されました。ポスターは全国のJBC公認競技場で掲

示中です。そして7月には全国9地区でブロック大会が順次開催されます。国体出場権をかけた大一番。各都道府県代表選手皆さんの健闘をお祈りします。いちご一会とちぎ国体ボウリング競技は、10月5日(水)から10日(月・祝)にかけて、栃木県足利市・足利スターレーン(公競No.109-022)で開催されます。



(左から)熊田菜奈海、崎山穂花、濱崎りあ、渡辺希理、近藤真桜

## 第77回国民体育大会各地区ブロック大会 日程

地区	開催月日	開催地	会場	公競No.
北海道	7月3日	北海道	千歳フジボウル	101-040
東北	7月8日~10日	青森県	ゆりの木ボウル	102-019
関東	7月15日~17日	東京都	東大和グランドボウル	113-112
北信越	7月22日~24日	福井県	スポーツプラザWAVE40	120-012
東海	7月22日~24日	岐阜県	土岐グランドボウル	124-026
近畿	8月6日~7日	京都府	ラピエタボウル宇治東	126-068
中国	7月16日~18日	広島県	賀茂ボウル	134-046
四国	7月15日~17日	高知県	ラウンドワン高知店	139-027
九州	7月22日~24日	熊本県	パスカワールド宇土店	143-058

## 国際大会派遣を再開

8月14日(土)からタイ・バンコクで開催される第21回アジアジュニア選手権大会に、日本代表選手8名が派遣されます。公式国際大会への日本代表派遣は、2019年10月の第25回アジア選手権大会以来、3年ぶりとなります。

## 2023世界シニア選手権

2023年に開催が予定されている世界シニア選手権大会(2023)に派遣する日本代表選手の選考が早くも開始されました。

6月19日(日)・20日(月)に行われた派遣候補選手選考会に、60名の選手が参加。男子シニア・女子シニア(50~63歳)、男子グランドシニア・女子グ

【日本代表選手】近藤真桜(群馬)、濱

ラングランドシニア(64~78歳)の4部門で、それぞれ6名の選手が選出されました。

11月にマレーシアで開催される第16回アジアシニア選手権大会の参加選手を募集します。

## アジアシニア選手権

参加者を募集します

【特別個人会員】▽栃木県 戸崎光一、▽群馬県 星野仁夫、▽富山県 大島宗男(連盟理事長)、小倉徳一(同副理事長)、岩井親孝(同細野忠司、戴下俊幸、山口伸一、境明、久郷冬野、片井彰、土反治久、山本直美、安田幹夫、江幡洋一、三田隆代、坪島文男、吉野浩司、八幡響、中井裕樹、山田誠一、越前哲男、池田和

## 賛助会員・特別法人・個人会員紹介

2022年6月10日以降登録者

- ▽滋賀県 依藤章
- ▽大阪府 奴井和幸(連盟会長)、尾辻利章(同理事長)、米澤満、松井正信、尾辻桂子
- ▽岡山県 加計孝太郎(連盟会長)、池田實(同副理事長)、小見山知一(同副理事長)、藤原治美(同副理事長)、藤原治美(同副理事長)、下口真一郎、小阪佳弘、山崎正造、鈴木健仁、三原真、田
- ▽愛媛県 戒能潤之介(連盟会長)、原俊司(同副理事長)、由中信安(同副理事長)、西山史浩(同副理事長)、檜垣尚登、山口宏明、市川芳昭、武知孝昌
- ▽福岡県 宗像利裕(連盟副理事長)
- ▽長崎県 石田晃弘(順不同・敬称略)
- ▽新潟県 依藤章
- ▽大分県 奴井和幸(連盟会長)、尾辻利章(同理事長)、米澤満、松井正信、尾辻桂子
- ▽岡山県 加計孝太郎(連盟会長)、池田實(同副理事長)、小見山知一(同副理事長)、藤原治美(同副理事長)、藤原治美(同副理事長)、下口真一郎、小阪佳弘、山崎正造、鈴木健仁、三原真、田
- ▽愛媛県 戒能潤之介(連盟会長)、原俊司(同副理事長)、由中信安(同副理事長)、西山史浩(同副理事長)、檜垣尚登、山口宏明、市川芳昭、武知孝昌
- ▽福岡県 宗像利裕(連盟副理事長)
- ▽長崎県 石田晃弘(順不同・敬称略)



7月&8月

**受付中です!**  
JBC公認ドリラー義務研修会(オンライン)

2022年度のJBC公認ドリラー義務研修会をオンラインで開催中です。2021~2023年の3年間で1回以上受講が必要な研修会です。有資格者の方はぜひ受講してください。

Web申込システム(e-moshicom)のフォーム<https://moshicom.com/69787/>で申込を受付中です。(お申込みにはe-moshicomへの無料会員登録が必要です)

申込受付期間 7月24日(日)まで  
受講料 3000円(オンラインでの決済またはコンビニ払いが可能です)

**スポーツくじ**

toto BIG

スポーツは育てることができる。

スポーツくじ(toto・BIG)の収益は、日本のスポーツを育てるために使われています。

スポーツ拠点づくり推進事業  
小学生特別指導会兼  
**第12回全日本小学生ボウリング競技大会**

2022年8月6日(土)・7日(日)

主催: 全日本小学生ボウリング競技大会実行委員会  
公益財団法人全日本ボウリング協会、愛知県ボウリング連盟、稲沢市ボウリング協会、稲沢市教育委員会

後援: 総務省、スポーツ庁、一般財団法人地域活性化センター、公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本オリンピック委員会、愛知県、公益財団法人愛知県スポーツ協会、稲沢市、稲沢市スポーツ協会

協力: 日本ボウリング機構(JBO)、東海ボウリング場協会、東海地区プロボウラーズ選手会、稲沢グランドボウル

主管運営: 愛知県ボウリング連盟、稲沢市ボウリング協会

稲沢グランドボウル

〒492-8164 愛知県稲沢市井之口大坪町80-1  
TEL0587-21-2131 FAX0587-21-2133  
<http://www.grandbowl.jp/inazawa>